

# 依知小だより

平成30年度  
3月号  
厚木市立依知小学校  
発行責任者  
荻野 浩文

## 1年間ありがとうございました



校長 荻野 浩文

春の気配が少しずつ感じられるようになり、平成30年度も残すところあとわずかとなりました。この1年間の教育活動を振り返ってみますと、今年度も多くの方々にご支援、ご協力をいただきました。校舎内外の環境整備、学習支援、本の読み聞かせ、昔遊び、また地域の学習では児童が訪問した際には、丁寧に説明していただくなど、大変お世話になりました。経験や知識豊富な方々から教えていただいたり、交流したりすることで、子どもたちの学習をより深めることができました。それ以外にも、PTAあいさつ運動や登下校時の安全確保等、色々な面から子ども達を温かく見守ってくださいましたことに厚くお礼申し上げます。

6年生は3月20日(水)に卒業式を迎えます。1月に入ってから、6年生の子どもたちと校長室で給食を一緒に食べました。一人一人が、6年間の小学校生活の思い出や将来への「夢」や「希望」を話してくれました。中には、まだ小学校を卒業したくないと言っている子もいました。短い時間でしたが、楽しいひとときを過ごすことができました。中学校進学後も楽しいことばかりではないかもしれませんが、何事にも自信を持ってチャレンジしてほしいと願っています。

最後になりましたが、本年度も保護者の皆様、地域の皆様にご理解とご協力をいただき、充実した教育活動を行うことができました。本当にありがとうございました。来年度も引き続きご支援ご協力いただきますようお願いいたします。

## ～来年度に向けて～



### ① 集団下校から学年下校へと変わります。

今まで依知小学校は下校班を作って集団下校を行ってきましたが、今年度の学校評価アンケートで、職員や保護者の方から次のような問題点が上がってきました。

- ・学年によって下校時刻が違うので時間を合わせるのが難しい。
- ・同じ下校班の中で人間関係のトラブルが多くなった。
- ・下校班の全員が集まるまでの待ち時間が長くなり、夏場の炎天下や激しい雨の日には、待っている子どもたちの体調が心配される。
- ・連絡がうまく伝わらず、早退や習い事で早く帰った子をずっと待っていることがある。



以上のことから、子どもたちが下校時刻を守ってより安全に下校できるように、来年度から下校班を作らずに、学年の同じ方面の子どもたちが複数で下校する学年下校に変更します。4月からスムーズに学年下校ができるように、3月11日(月)より学校職員が下校指導を行いながら実施していく予定です。ご理解と今後の見守り活動にご協力をお願いします。なお、登校につきましては、今まで通り登校班での登校となります。

### ② 2学期の始業式が早くなります。

新天皇即位の関係行事で休日が多くなります。授業時数確保のため8月29日(木)が2学期始業式となります。ご承知おきください。



## スマートフォンや携帯ゲーム機等の扱いについて

教頭 堀江 理佐子

本校では中学年高学年の児童向けに、携帯やスマホ等の使い方についての教室を毎年開いており、今年度も夏休み前に実施しました。しかしながら、その後もこのような情報機器の扱いについてのトラブルが起きています。そこで保護者の皆様に次のことをお子様とともに再度確認していただければと思います。

### 【お子さんがスマホやゲーム機等を使用する際に】

- ・メールや無料通話アプリ等で、友達への悪口を絶対に書かないこと
- ・写真や動画を絶対に無断で撮ったり、動画投稿サイトに投稿したりしないこと。  
(無断で投稿すると犯罪となることもあります。)
- ・友達の携帯電話やゲーム機をかってに使わないこと。

### 【保護者の方へお勧めしたいこと】

- ・定期的にお子さんの情報機器をチェックすること。  
(無料通話アプリ・そのほかのアプリの使用履歴の確認、インターネットや動画投稿サイトの使用履歴の確認など。)
- ・保護者がアクセス制限できるサービスを使用して、しっかりと制限をかけること。



## SNSアプリの多くは、13歳以下の利用を禁じています。

- ・SNS年齢制限一覧などで検索すると、簡易的な年齢制限確認ができます。ぜひお子さんに、無自覚違反行為をさせていないか、保護者の責任においてぜひご確認ください。

※また併せて、保護者の方が運動会や体育館での発表、卒業式といった学校行事の際に撮影した写真や動画を、投稿サイトに投稿することは、ほかのお子さんやご家庭に迷惑がかかることとなりますので、絶対にしないようにしてください。

## 教材や教具の持ち運びの軽減について

登下校の際に重いランドセルが子どもたちの負担になっているのではないかと、少し前から話題になっていますが、本校では以前から、毎日持ってくるものと学校に置いてよいものを伝えて、子どもたちへの過度な負担がないように配慮しています。例えば絵の具セットや裁縫セットなどの教具、資料集やドリルなど、各学年の判断で指示をしています。また、毎日の宿題に必要な教科の教科書や問題集などは持ち帰るようにしています。

## 依知南公民館祭りに参加

2月24日(日)に、ステージ発表で5・6年生の代表がソーラン節を披露しました。展示部門では、2年生の詩が展示されました。多くの地域の方や保護者の方に見ただけで有難かったです。

